

○委員長（小林 芳幸）

- ・ 開会宣告
- ・ 議題の確認

1 閉会中継続調査事件

(1) 函館駅前・大門地区の活性化に向けた公共施設整備について

○委員長（小林 芳幸）

- ・ 議題宣告
- ・ 本日は前回の委員会で確認したとおり、調査を進めていく上でポイントとすべき課題と調査する先自治体や日程について協議を行いたいと思う。まず、調査を進めていく上でポイントとすべき課題等についてだが、前回の委員会では函館駅前大門地区の活性化に向けて、市民や観光客が集まり、にぎわいが戻ってくるような公共施設にすべき、またビジネスマンや観光客が仕事をしたり観光に出発できるベースとなるような施設といったご意見があった。これらを踏まえ、公共施設の整備については人の流れを生み集客ができる施設、様々な人が利用し交流が促進される施設といったことが課題等として考えられることから、この2つのポイントを中心に調査を進めたいと考えているが、いかがか。（異議なし）
- ・ 次に今後の調査の進め方について、前回の委員会で確認した地域活性化に貢献している先進的な公共施設を整備している都市へ行政視察を行ってはどうかと考えており、正副で資料を調製しお手元に配付したので御覧願う。
- ・ まず、資料1、千葉県柏市のパレット柏についてだが、この施設は柏駅の再開発事業に伴い建設されたDayoneタワーの3階に市民の新しい発見の場、出会いの場、創造の場、仲間との趣味の場、学びの場として利用できる施設として、市民交流センターや国際交流センターなどが配置され、市民活動の活性化や新たな支え合うコミュニティづくりの場となっている。利用者数については、平成30年度は41万2,771人、令和元年度は42万5,575人と利用者数も増加しており、駅周辺のにぎわいづくりの拠点として効果を上げている施設となっている。
- ・ 続いて資料2、神奈川県大和市の大和市文化創造拠点シリウスについてだが、こちらも大和駅の再開発事業に伴い建設された施設となっており、こちらは図書館を中心に芸術文化ホール、生涯学習センターなどが配置され「心に響く・心が躍る・心をつなぐ大和市の文化を創造し市民が誇れる広場づくりの実現」を基本的な考え方として、ワークショップや芸術創造事業などに取り組み、平成28年のオープン後3年2か月余りで累計来館者数は1,000万人を達成し、市内外から多くの方が集まる地域の交流地点として効果を上げている施設となっている。
- ・ 資料の説明は以上だが、この2つの都市を対象に調査を行い、当市における今後の函館駅前大門地区の活性化に向けた公共施設整備の検討に当たっての参考にしてはどうかと考えているが、いかがか。（異議なし）
- ・ 日程については5月17日火曜日および5月18日水曜日の2日間としたいと思うが、よろしいか。（異議なし）

- ・ 次に、行政調査時の調査票については柏市、大和市の取組等を勘案の上、作成することとし、内容については正副に一任願いたいと思うが、よろしいか。（異議なし）
 - ・ なお、今回の行政調査については、今後の新型コロナウイルス感染症の状況等により、行程の変更や中止も考えられるのであらかじめ御承知おき願いたい。
 - ・ その他、本件について、各委員から何か発言はあるか。（なし）
 - ・ 議題終結宣告
-

2 その他

○委員長（小林 芳幸）

- ・ 各委員から何か発言あるか。（なし）
- ・ 散会宣告

午前11時31分散会